

創業計画書【記入例】

お名前 株式会社 ○ ○ ○ ○

この書類は、ご面談にかかる時間を短縮するために活用させていただきます。お手数ですが、ご協力のほどよろしくお願いたします。
 ・なお、本書類はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。
 ・お手数ですが、可能な範囲でご記入いただき、借入申込書に添えてご提出ください。
 ・この書類に代えて、お書きまご自身が作成された計画書をご提出いただいても結構です。

創業のきっかけ、経歴、技術、事業の特徴などのポイントを記入してください。

[平成 ○年 ○月 ○日作成]

1 創業の動機

業種	内装工事業	創業(予定)時期	平成 ○年 ○月
創業されるのは、どのような目的、動機からですか。	・内装工事業に15年従事した経験を生かし、独立して自分の力を試したいと考えていた。 ・現勤務先など、要注先を確保し、事業としての見通しが立ったため、内装工事業を創業することにした。		

2 事業の経験等

過去にご自分で事業を経営していたことはありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を経営していたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を経営していたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を経営していたことがあるが、既にその事業をやめている。【→ やめた時期: 年 月】			
この事業の経験はありますか。(お勤め先、勤務年数など創業に至るまでのご経歴)	年月	略歴・沿革		
	平成○年○月	17ホーム△△ 3年勤務(営業兼現場担当)		
	平成○年○月～	(株)○○建築 12年勤務 (現場担当7年、営業担当3年、2年前から○×地区の総括営業部長) (現在の月給40万円)		
	平成○年○月	退職予定 (退職金100万円)		
取得されている資格	有 () ・特になし			
創業される方(法人の場合、代表者の方)の現在のお借入の状況(事業資金を除きます。)	お借入先名	お使いみち	お借入残高	年間返済額
	○○銀行△△支店	医・車・教育・カード・その他 住宅・車・教育・カード・その他 住宅・車・教育・カード・その他	2,544万円	132万円

3 取扱商品・サービス

お取扱いの商品・サービスを具体的に書きください。	①住宅17ホーム(内装工事業全般)(1ヶ所あたり110万円～)	(売上シェア 45%)
	②新築マンションの内装工事(1件あたり1200万円～)	(売上シェア 45%)
セールスポイントは何ですか。	③各種修繕工事	(売上シェア 10%)
	・バリアフリーを目的とした17ホームを多く手掛けた経験を生かし、より機能性の高いバリアフリーの居住空間を提供することができる。 ・施工半年後に無料で点検するサービスを行う。	

4 取引先・取引条件等

	取引先名(所在地等)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件	取引先名(所在地等)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件
販売先	一般個人	50%		着工時、中間時、竣工時にそれぞれ3分の1ずつ回収	・販売先・仕入先との結びつきがあれば記入しましょう。契約書・注文書などがあれば添付してください。 ・販売・仕入条件について確認しておく必要があります。立地選定理由についても触れましょう。			
	(株)○○建築(○○区○○) (現勤務先)	50%		日回収				
仕入先	○○工業(株)(○○市○○)	100%	100%	末日翌日支払	・借入金の返済元金はここから支払われることになります。 ・個人営業の場合、事業主分の人件費はここに含まれます。			
	(株)○○建築(○○区○○) (現勤務先)	50%	100%	末日翌日支払				
外注先	各種職人(個人経営者)	50%	100%	末日翌日支払				
	(現勤務先の外注先)	50%	100%	末日翌日支払				
従業員等	常勤従業員の人数(法人の方のみ)	2人			人件費の支払			
	従業員数(うち家族)	1人(0人)						
	パート・アルバイト	0人			ボナサスの支給月 6月、12月			

5 必要な資金と調達の方法

必要な資金	金額	調達の方法	金額
店舗、工場、機械、備品、車両など(内訳)	640万円	自己資金	340万円
・車両(700車)計2台(○×社見積のとおり)	300	親、兄弟、知人、友人等からの借入(内訳・返済方法)	万円
・工具一式2セット(××社見積のとおり)	200	日本政策金融公庫 国民生活事業からの借入 元金6万円×84回(年○.○%)	500万円
・事務機器・備品(△△社見積のとおり)	50	他の金融機関等からの借入(内訳・返済方法)	万円
・保証金	90		
見積書などを添付してください。			
商品仕入、経費支払資金など(内訳)	200万円		
・材料仕入	100	金額は一致します。	
・外注費支払	100		
合計	840万円	合計	840万円

6 事業の見通し(月平均)

	創業当初	軌道に乗った後(○年○月頃)	売上高、売上原価(仕入高)、経費
売上高①	400万円	520万円	<創業当初> ①売上高 200万円/件×2件=400万円(要注費あり) ②原価率 65%(材料費、外注費)(勤務時の経験から) ③人件費 代表者1人、役員1人、従業員1人 (代)30万円+(役)30万円+(従)20万円=80万円 家賃 15万円 支払利息(内訳) 500万円×年○.○%÷12ヵ月=1万円 その他経費 30万円
売上原価②(仕入高)	260万円	338万円	
人件費③	80万円	110万円	<軌道に乗った後> ①創業時の1.3倍は可能(勤務時の経験から) ②当初の原価率を採用 ③人件費 役員報酬・従業員給与と増額 計30万円増 その他経費 10万円増
家賃	15万円	15万円	
支払利息	1万円	1万円	
その他	30万円	40万円	
合計③	126万円	166万円	
利益①-②-③	14万円	16万円	

人件費は、従業員数もわかるようにしてください。

支払利息(月間)は、「借入金×年利率÷12ヵ月」で算出します。

(注)個人営業の場合、事業主の分は含めません。

ほかにも参考となる資料がございましたら、計画書に添えてご提出ください。

(日本政策金融公庫 国民生活事業)